中学生チャレンジテスト(1・2年生)

平均点

58.8点

平均点

60.1点

平均点

58.5点

実施生徒数:58,619人

実施生徒数:58,720人

実施生徒数:58.773人

中学校2年【数学】

中学校2年【英語】

- 〇学力に関するテスト •中学校第1学年:国語、数学、英語
- ·中学校第2学年:国語、社会(選択問題A·B) 数学、理科(選択問題A·B)、英語
- ○学習状況に関するアンケート 牛往アンケート
- O対象
- ・中学校、義務教育学校後期課程及び 支援学校中学部の第1学年及び第2学年
- 〇実施校数(1月13日実施分)
- •中学校第1学年:459校
- 〇実施生徒数(1月13日実施分)

大阪府教育委員会

- •中学校第1学年:59.703人 •中学校第2学年:58,824人
- •中学校第2学年:455校

中学校1年【国語】 平均点 無解答率 62.2点 9.7

中学校1年【数学】

無解答率

6.2

実施牛徒数:59.675人

平均点

58.5点

実施生徒数:59,627人

良好

□話し合いの話題や方向性をとらえること

□議論の内容を理解し、判断したことを理由とともに書くこと

課題

■説明文を読み、理解したことを条件に従って書くこと

- ■古典作品において、文章全体と部分との関係を考え、内容を理解
- すること
 - 【これからの学習に向けたアドバイス】 ★説明文を読んでまとめるときには、筆者の考えを整理して順序だ

 - てて書くようにしましょう。 ★古典作品を解説した本や映像資料を見て古典に親しみましょ
- う。作品の内容をつかむには、登場人物がどのような行動をして いるのか、意識して読むようにしましょう。

□グラフから座標を読み取ること 課題

良好

- ■文字式を用いて数量の関係を具体的に説明すること ■ 比例関係を表す表から、比例定数を求めること

□数直線上に示された負の整数を読み取ること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★数量の関係を説明するときは、具体の数で理解し、式に表した り、その意味を読み取ったりしたうえで、数学的な表現に気を付け ながら説明できるようにしましょう。
- ★ 2つの数の間にどのような関係があれば比例や反比例というのか。 まとめてみましょう。

- な情報を整理するようにしましょう。
 - を意識して書くことから始めましょう。

中学校2年【国語】 良好

無解答率

11.9

無解答率

9.4

無解答率

5.6

- □接続語など、文章の中での言葉の働きを理解すること □情報を整理し、出典を示すこと

課題

- ■文章の内容を捉え、筆者の考えを理解すること
- ■目的に応じて情報を集め、伝えたいことを明確にすること

□証明の根拠となる事柄を筋道をたてて考えること

【これからの学習に向けたアドバイス】

★説明文では、文章全体におけるそれぞれの段落の役割は何か、

グラフに2等分する線を書き入れてみましょう。そして、直線の傾

- 考えながら読むようにしましょう。 ★相手にわかりやすく伝えるために、目的や意図に応じて説明や具
- 体例を加えることや、表現しようとする内容に最もふさわしい語句
- を選ぶことができたか、読み返すようにしましょう。

良好 □着目する数量を表した方程式をつくり、その値を求めること

- 課題
- ■三角形の面積を二等分する直線の式を求めること
- ■事柄が成り立つ理由を、論理立てて数学的に説明すること

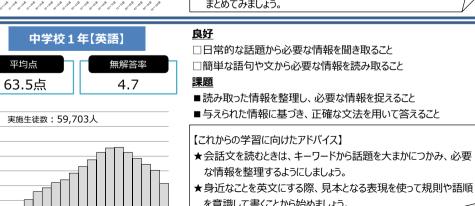
- 【これからの学習に向けたアドバイス】
- ★グラフ上の三角形の面積を2等分する式を求めるときは、まず、
- きを考えてみましょう。 ★4の倍数は、4× (整数) で表せます。与えられた文字式を
- 4×(整数)に変形してみましょう。

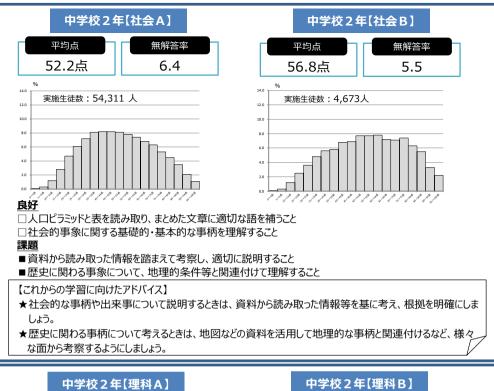
課題

良好

□日常的な話題から必要な情報を聞き取ること □簡単な語句や文から必要な情報を読み取ること

- ■日常的な話題が書かれた英文の概要と要点を読み取ること
- ■会話の流れに合う英文を正確な文法や表現を用いて書くこと
- 【これからの学習に向けたアドバイス】
- ★場面や状況に応じて、必要な情報が何かを考えながら、英文を 聞いたり読んだりする習慣をつけましょう。
- ★自分の考えや気持ちを英語で表現する際、自分が話したことや 書いたことを後から振り返り、適切な語彙や文法が使えているか どうかを教科書や辞書などを使って修正するようにしましょう。





課題

- ■示されたデータから必要な情報を読み取り、論理的に思考すること
- ■有機物を燃焼させると質量が小さくなる理由を、根拠に基づき表現すること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★実験結果を考察するときは、調べたことや実験結果の中から自分の考えの根拠となる情報は何かを判断し、 考察するようにしましょう。
- ★現象の理由を説明するときは、既習の知識を科学的な根拠に基づいて何をどの順序で表現できるか考えるようにしましょう。

| | 1・2年生にお | けるアンケ | ート結果 | | | | |
|--|------------------------|---|--------------------|-----------|-----------------|---|----------------|
| 1.授業中、ノートやプリントに自分のネ | 考えを書く場面がある。 30% 40% | 50% | 60% | 70% | 80% | 90% | 100% |
| 中1 [11111111111111111111111111111111111 | | 111111111 | 36.8 | | | 11,4 | 3.0 0.1 |
| 中2 50.6 | | | 36 | .4 | | 9.9 | 3.1 0.1 |
| 2.授業中、自分の考えや意見を伝え | ス提面がある | | | | | | |
| 中1 | | | 36.2 | | #//////# | 12.3 | 3.4 0.1 |
| 中2 48.1 | | | 38. | X | | 10.3 | 2.8 0.1 |
| 3.授業中、話し合う活動を通じて自然 | 分の考えを深めたり、広 | ばたりしている | ,) o | | | | |
| 中1 39.2 | | | 44,0 | | 1111111 | 13.5 | 3.2 0.1 |
| 中2 38.8 | | | 45.4 | | | 12.6 | 3.2 0.1 |
| 4.授業で、図書館の資料やインター | ネットなどで調べる活動が | がある。 | | | | | |
| 中1 33.2 | | 40.3 | | | 19.4 | 11111111110000 | 7.1 0.1 |
| 中2 35.3 · · · · · | | 42. | <u> </u> | | 10 | .6 | 5.6 0.1 |
| 5.授業中、間違っても笑われない。 | | | | | | | |
| 中1 | | | 34.7 | | | 12.8 | 4.8 0.8 |
| 中2 47.5 | <u> </u> | | 36.2 | | | 11,4 | 4.0 1.0 |
| 6.自ら課題を見つけて、家で勉強をし | ている。 | | | | | | |
| 中1 16.2 | | | 32 | .3 | | 14.5 | 0.8 |
| 中2 14.8 | 34.6 | | 33.7 | | | 15.9 | 0.9 |
| 7.テレビや新聞、インターネットなどのこ | ュースを見る。 | | | | | | |
| 中1 [| | ****** | 5.7 | | 16.0 | 111111111111111111111111111111111111111 | 0.9 |
| 中2 | | /////////////////////////////////////// | 3 | | 16. | 4 | 1.0 |
| 8.普段(月曜日から金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか。 | | | | | | | |
| 中1 24.0 | CONTRACTOR OF THE | | | | | 75.75 H | 111111 |
| 中2 <u>26.2</u> 1.~7. | 21.2 | | 23.5 | # | 16.0 | 5.1 2.7 | 4.4 0.9 |
| □ 当てはまる ■ どちらかといえば, 当 ⁻ | てはまる ロ どちらかと | <u>-</u> いえば, 当 ⁻ | てはまらない | 🛭 当ては | はまらない | ロその他に | □無回答 |
| 8. | | _ | - OP+88 N L | 4 D+ BB 1 | . I I alsahsi s | | |
| 4時間以上2時間以上, 3時間より少なり | ,\ | | ■ 3時間以上 □ 1時間以上 | | | | |
| ■ 30分以上, 1時間より少ない □ 携帯電話やスマートフォンを | | | ■ 30分より少 ■ その他 | ない | | | |
| 【生徒・保護者のみなさんへ】 | | | | | | 7/ | |

アンケートの回答状況とテスト結果との関係を調べてみると、「6. 自ら課題を見つけて、家で勉強をしている。」と、「7. テレビや新聞、インターネットなどのニュースを見る。」で、肯定的回答(「あてはまる」「どちらかといえば、当てはまる」)の生徒ほど、各教科の平均点が高い傾向が見られました。さらに、「8. 普段(月曜日から金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか。」では、使用時間が短い生徒ほど、各教科の平均点が高い傾向が見られました。

生徒のみなさんは、こうした結果を参考に、自分の学習状況、生活習慣などを振り返り、今後の学習や生活に役立ててください。

- ■今回お知らせする結果は、学力や学習状況の一部分であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。
- ■本調査の結果とともに、「ワーケブック」や「カだめしプリント」などの学習に役立つ情報については、大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課のWebページにおいてもお知らせして いますので、ご活用が定い。

○復習教材 http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/h30_3_fukushu.html